

中国国際、RFTK 13.1%増で伸び率最大

■アジア系航空会社7社<7月>

アジア系航空会社7社の貨物輸送実績（各社発表本紙集計、表参照）によると、2026年7月は、トンキロベースの輸送量（RFTK）で中国国際航空（CAO）が前年同月比13.1%増と最大の伸びを記録した。中国東方航空（CES）が4.2%増、中国南方航空（CSN）が3.1%増、キャセイパシフィック航空（CPA）が1.5%増となった。一方、シンガポール航空（SIA）は0.1%減、エバー航空（EVA）は3.9%減、チャイナエアライン（CAL）は5.3%減だった。

トンキロベースの供給量（AFTK）は、CAOが前年同月比21.4%増と大きく伸びた。CSNが7.1%増、CES

アジア系航空会社7社貨物実績

7月 航空会社	貨物輸送量		輸送量（RFTK）		供給量（AFTK）	
	トン	前年比（%）	千トンキロ	前年比（%）	千トンキロ	前年比（%）
キャセイパシフィック	148,638	6.1	764,684	1.5	1,292,067	▲0.1
チャイナエアライン	—	—	494,000	▲5.3	701,000	▲6.0
シンガポール	100,500	1.9	530,500	▲0.1	916,300	▲1.5
エバー	71,395	▲4.7	416,000	▲3.9	580,000	1.4
中国南方	79,280	1.1	695,520	3.1	1,129,560	7.1
中国東方	43,820	7.6	295,090	4.2	576,970	4.7
中国国際	49,142	12.2	342,300	13.1	628,600	21.4

※前年比は前年同月比の増減率。中国東方は国際路線の旅客機ベリールおよび旅客機貨物便のみ、中国国際・中国南方は国際路線の貨物・郵便のみの実績

が4.7%増、EVAが1.4%増だった。一方、CPAは0.1%減、SIAは1.5%減、CALは6.0%減となり、供給面では3社が前年同月を下回った。

重量ベースの貨物輸送量を見ると、CAOが前年同月比12.2%増と最大

の伸びだった。ほか、CESが7.6%増、CPAが6.1%増、SIAが1.9%増、CSNが1.1%増とプラス成長だった。一方、EVAは4.7%減だった（CALは重量実績非公開）。

7社実績の詳細は表の通り。